

第2小委員会

社 会
(歴史的分野)

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程 野 仁 様

第12地区教科書採択調査委員会第2小委員会委員長 寺 島 康 博

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、社会・歴史的分野の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 7者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 7者の教科書について、報告書を作成した。
(※2者については教科書見本本を提出していないので趣意書を基に検討した。)

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本の総合所見

(1) 東京書籍 「新しい社会 歴史」

- 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、政府のアイヌ民族と琉球民族への対応の相違点を考察したり、単元のまとめでは「日本と世界との結びつきを考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
 - ・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興の象徴となる出来事を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本を形作ったものは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動

(2) 教育出版 「中学社会 歴史 未来をひらく」

- 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「近代の日本と世界」において、議会政治の展開に着目して、明治政府と民権派の考え方の違いを考察したり、単元のまとめでは「日本が近代化に成功した理由について考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
 - ・「現代の日本と世界」において、国際社会における我が国の役割に着目して、平和な世界を築くための取組を考察したり、単元のまとめでは「日本が国際的地位を向上させた要因を説明しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動

(3) 山川出版社 「中学歴史 日本と世界」

- 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
 - ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法の制定やそれに伴う法律の改正に着目し日本の民主化の進展を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動

(4) 帝国書院 「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」

- 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「近代の日本と世界」において、明治時代の近代産業の発展に着目して、農村の人々の生活の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代化による、政治や社会の大きな変化とは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
 - ・「現代の日本と世界」において、日本の高度経済成長に着目して、経済や産業、社会や国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動

(5) 日本文教出版 「中学社会 歴史的分野」

- 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「近代の日本と世界」において、明治政府の富国強兵政策の目的に着目して、近代国家建設を急いだ理由を考察したり、単元のまとめでは「明治政府の政策から、近代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
 - ・「現代の日本と世界」において、経済大国となった日本と諸外国との関係に着目して、世界に与える影響を考察したり、単元のまとめでは「復興と成長の源に着目して、現代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動

(6) 育鵬社 [最新] 「新しい日本の歴史」

○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・「近代の日本と世界」において、明治時代の外交の展開に着目して、国境が定められた経緯を考察したり、単元のまとめでは「この時代のできごとで最も重要と思うものは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
- ・「現代の日本と世界」において、第二次世界大戦後の諸改革に着目して、日本の民主化と再建の過程を考察したり、単元のまとめでは「これからの日本はどんな社会になり何が問題になるのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動

(7) 学び舎 「ともに学ぶ人間の歴史」

○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・「近代の日本と世界」において、議会政治の始まりに着目して、自由民権運動の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
- ・「現代の日本と世界」において、サンフランシスコ講和会議の参加国に着目して、第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、単元のまとめでは「時代の変化を絵に表してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動

別紙様式 1

| 観点 | 番号 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---|---|-------------------|-----------|----------|
| 観 点 | 2・東書 | 第1・2・3学年 歴史的分野 | 歴史・705 | 新しい社会 歴史 |
| 取 扱 内 容 | <p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についてのまとめや年表の読み取りから年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマ設定などの調査方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代では律令国家の形成に着目して、<u>貴族と一般の人々の生活に違いが生じた理由</u>を考察したり、単元のまとめでは「古代日本のキーパーソンは誰だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政治の成立の影響に着目して、<u>平安時代の仏像と特徴を比較して違い</u>を考察したり、単元のまとめでは「古代との比較から中世の特色を探ろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、織田・豊臣の統一事業に着目して、<u>戦国時代を終わらせた最も重要な政策</u>を考察したり、単元のまとめでは「近世で最も活躍した身分はどれだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、<u>政府のアイヌ民族と琉球民族への対応の相違点</u>を考察したり、単元のまとめでは「日本と世界との結びつきを考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、<u>日本復興の象徴となる出来事</u>を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本を形作ったものは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>応仁の乱の学習</u>において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、戦いの様子を描いた複数の時代の資料を比較し、社会の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動 | | | |
| 排 列 ・ 分 量 等 内 容 の 構 成 | <p>○ 内容の構成・排列には次のような工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史へのとびら」において、歴史の学び方を学習し、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野 総ページ数 295 ページ、前回より約 9%増 | | | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <p>○ 江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載して、13 世紀以降のアイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに<u>基礎事項を確認する活動</u>や、「トライ」で、要約や説明により<u>学習課題を解決する活動</u>を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>「D マーク」(QR コード)</u>を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> | | | |
| そ の 他 | <p>○ 北海道とかかわりのある内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史・文化等 18 ページ、北方領土 9 ページ <p>○ 自然災害及び防災に関する内容について 18 ページ</p> <p>○ <u>学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</u></p> | | | |

別紙様式 1

| 観点 | 番号 | 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---------|-------|-----------|------|------------------|--|
| | | 17・教出 | | 第1・2・3年 歴史的分野 | 歴史・706 |
| 取扱内容 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、<u>名古屋や川崎の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</u> ・「古代までの日本」において、奈良時代では中央集権国家の仕組みに着目して、<u>中央と地方の関係を考察したり、単元のまとめでは「日本という国がどのように成立し、発展していったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「中世の日本」において、室町時代では文化の変化に着目して、<u>社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「古代と比較し、中世はどのような時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近世の日本」において、<u>元禄・化政文化の形成に着目して、共通点や時代背景の違いを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代と前の時代を比較して、近世の特色を説明してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近代の日本と世界」において、議会政治の展開に着目して、<u>明治政府と民権派の考え方の違いを考察したり、単元のまとめでは「日本が近代化に成功した理由について考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「現代の日本と世界」において、国際社会における我が国の役割に着目して、<u>平和な世界を築くための取組を考察したり、単元のまとめでは「日本が国際的地位を向上させた要因を説明しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような活動内容を取り上げている。 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>鎌倉時代の人々の暮らしの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広めたり深めたりする学習活動</u> |
| 排列・分量等 | 内容の構成 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>歴史の流れをとらえよう</u>」において、歴史の学び方、時代区分毎の特色や歴史の流れを順に学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野 <u>総ページ数 298 ページ、前回より約 14%増</u> |
| 使用上の配慮等 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館の来航記念碑の写真を掲載して、<u>函館寄港の際のエピソードを紹介したり、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話などの資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</u> ○ 「確認」で、<u>一単位時間の学習内容を振り返り、整理する活動や、「表現」で、学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</u> ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用し、<u>「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</u> |
| その他 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>北海道とかかわりのある内容について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史・文化等 18 ページ、北方領土 9 ページ ○ <u>自然災害及び防災に関する内容について 15 ページ</u> ○ <u>学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</u> |

別紙様式 1

| 観 点 | 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---------------------------------|--|-------------------|-----------|---------------------------|
| 取 扱 内 容 | 46・帝国 | 第1・2・3学年 歴史的分野 | 歴史・707 | 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き |
| 排 列 ・ 分 量 等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容的構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れを学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野 総ページ数 292 ページ、前回より約 11%増 | | | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 明治時代の札幌の地図や屯田兵村の写真、北海道の開拓と産業の発展に係る資料を掲載して、<u>北海道や札幌市の近代化の過程を説明</u>したり、アイヌの人たちの生活や文化について、神話や衣食住などの資料を掲載して、独自の文化を築いたことについて説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認しよう」で一単位時間の学習内容を振り返る活動や、「説明しよう」で学習内容を自分の言葉で説明し、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>二次元コード (QR コード)</u> を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 | | | |
| そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかわりのある内容について <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史・文化等 19 ページ、北方領土 7 ページ ○ 自然災害及び防災に関する内容について 17 ページ ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 | | | |

別紙様式 1

| 観 点 | 発行者の番号・略称 81・山川 | 使用学年 第1・2・3学年 歴史的分野 | 教科書の記号・番号 歴史・708 | 教科書名 中学歴史 日本と世界 |
|---|---|---------------------------|---------------------|--------------------|
| 取 扱 内 容 | <p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、<u>平泉や金沢の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</u> ・「古代までの日本」において、平安時代では東アジアとの接触や交流に着目して、<u>文化の国風化</u>を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では武家政治の展開に着目して、<u>幕府の仕組みや守護の役割の変化</u>を考察したり、単元のまとめでは「宗教が大きな影響力をもった理由を考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代では産業や交通の発達に着目して、<u>生産技術の向上や三都の発展</u>を考察したり、単元のまとめでは「近世の日本の経済や社会はどのように変化しただろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、<u>国際関係の変化</u>を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくらうとしていたのだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法の制定やそれに伴う法律の改正に着目し、<u>日本の民主化の進展</u>を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>日露戦争と東アジアの学習</u>において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争に至る過程とその戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動 | | | |
| 排 列 ・ 分 量 等 内 容 の 構 成 | <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習し、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できる工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野 <u>総ページ数 288 ページ、前回は未調査</u> | | | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <p>○ 明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、<u>開拓の歴史</u>などから札幌について考える課題を位置付けたり、アイヌの人たちの歴史と文化について、<u>アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵</u>を掲載して、特徴を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「ステップアップ」で、一単位時間の終わりに<u>新たな課題を追究する活動</u>や、「歴史を考えよう」で、<u>学んだことを基に考察する活動</u>を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>二次元コード(QRコード)</u>を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> | | | |
| そ の 他 | <p>○ 北海道とかかわりのある内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史・文化等 8ページ、北方領土 8ページ <p>○ 自然災害及び防災に関する内容について 8ページ</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> | | | |

別紙様式 1

| 観点 | 番号 | 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---------------------------------|---|-------------------|--------|-----------|------|
| 観 点 | 116・日文 | 第1・2・3学年 歴史的分野 | 歴史・709 | 中学社会 歴史分野 | |
| 取 扱 内 容 | <p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、<u>奈良や大阪の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、歴史の調べ方について示した「スキル UP」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</u> ・「古代までの日本」において、奈良時代では古事記や日本書紀に着目して、<u>当時の人々の信仰やものの見方を考察したり、単元のまとめでは「文字の変化に着目して、古代までの特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「中世の日本」において、室町時代では産業が発達していく過程に着目して、<u>民衆の成長を背景とした文化の高まりを考察したり、単元のまとめでは「法に着目して、中世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、<u>幕府の改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「幕府の収入に着目して、近世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近代の日本と世界」において、明治政府の富国強兵政策の目的に着目して、<u>近代国家建設を急いだ理由を考察したり、単元のまとめでは「明治政府の政策から、近代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「現代の日本と世界」において、<u>経済大国となった日本と諸外国との関係に着目して、世界に与える影響を考察したり、単元のまとめでは「復興と成長の源に着目して、現代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>承久の乱の学習</u>において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の資料から読み取ったことをもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動 | | | | |
| 排 列 ・ 分 量 等 | <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野 総ページ数 317 ページ、前回より約 16%増 | | | | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <p>○ 北方領土に関する条約や北方領土付近の国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、<u>第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したりする</u>など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「確認」で、一単位時間の<u>学習の理解を確認する活動</u>や、「深めよう」で、<u>学習課題の理解を深める活動</u>を掲載するなど、主体的に学習に取り組む工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方を説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「<u>デジタルマーク</u>」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> | | | | |
| そ の 他 | <p>○ 北海道とかかわりのある内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史・文化等 15 ページ、北方領土 4 ページ <p>○ 自然災害及び防災に関する内容について 17 ページ</p> <p>○ <u>学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</u></p> | | | | |

別紙様式 1

| 観 点 | 番号 発行者の番号・略称 | 使用学年 第 1・2・3 学年 歴史的分野 | 教科書の記号・番号 歴史・710 | 教 科 書 名 [最新] 新しい日本の歴史 |
|---|---|-----------------------------|---------------------|--------------------------|
| 取 扱 内 容 | <p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、歴史の流れと小学校で学んだ人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、様々な時代区分についてのまとめから年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、<u>大阪や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、実際の調べ学習を例にした調査の流れから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</u> ・「古代までの日本」において、飛鳥時代では律令国家の確立に至る過程に着目して、<u>聖徳太子が目指した政治を考察したり、単元のまとめでは「古代の日本と中国の関係がどう変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政権の成立や仕組みに着目して、<u>古代の律令政治との違いを考察したり、単元のまとめでは「この時代の人々の暮らしや社会がどうなったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近世の日本」において、江戸幕府の諸政策の目的に着目して、<u>幕府がどのように支配を固めたのかを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代の社会はどんな社会だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近代の日本と世界」において、明治時代の外交の展開に着目して、<u>国境が定められた経緯を考察したり、単元のまとめでは「この時代のできごとで最も重要と思うものは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「現代の日本と世界」において、第二次世界大戦後の諸改革に着目して、<u>日本の民主化と再建の過程を考察したり、単元のまとめでは「これからの日本はどんな社会になり何が問題になるのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>江戸幕府による鎖国の学習</u>において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎖国を肯定する視点と否定する視点を比較し、鎖国の影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動 | | | |
| 排 列 ・ 分 量 等 内 容 の 構 成 | <p>○ 内容の構成・排列には次のような工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>歴史探検！歴史の流れと先人の活躍</u>」において、歴史の学び方を学習し、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できる工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野 総ページ数 302 ページ、前回より約 9%増 | | | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <p>○ 「<u>お雇い外国人</u>」の紹介として、北海道に縁のあるウィリアム・スミス・クラークを取り上げ、<u>北海道の開拓にまつわるエピソード</u>を示したり、アイヌの人たちが行っていた交易に関する資料を掲載して、アイヌの人たちと周辺諸国や地域との関係を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「歴史ビュー」で、本文の内容について<u>多角的な視点から考察する活動</u>や、「歴史のターニングポイント」で、各時代の出来事について<u>意見を交換する活動</u>を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設け、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーバリアフリーに配慮し、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>プレゼンテーション用のソフトを活用した発表方法を掲載</u>するなど、使用上の便宜が図られている。</p> | | | |
| そ の 他 | <p>○ 北海道とかかわりのある内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史・文化等 8 ページ、北方領土 9 ページ <p>○ 自然災害及び防災に関する内容について 13 ページ</p> <p>○ <u>学習者用デジタル教科書の発行は予定されていない。</u></p> | | | |

別紙様式 1

| 観点 | 番号 | 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---------|---------|------------------|--------|------------|--|
| 観点 | 229・学び舎 | 第1・2・3年 歴史的分野 | 歴史・711 | ともに学ぶ人間の歴史 | |
| 取扱内容 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、<u>歴史の流れを示した表</u>と小学校で学んだ人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、<u>東京の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</u> ・「古代までの日本」において、弥生時代では稲作の広まりに着目して、<u>暮らしや社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「人びとの生活や社会の様子、制度や文化はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「中世の日本」において、室町時代では諸産業の発達に着目して、<u>都市や農村の自治的な仕組みの成立を考察したり、単元のまとめでは「中世はどのような人びとが力をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、<u>百姓一揆が起こった原因を考察したり、単元のまとめでは「中世との比較から近世・江戸時代の特色を考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「近代の日本と世界」において、議会政治の始まりに着目して、<u>自由民権運動の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ・「現代の日本と世界」において、サンフランシスコ講和会議の参加国に着目して、<u>第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、単元のまとめでは「時代の変化を絵に表してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</u> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような活動内容を取り上げている。 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>近世の統一事業の学習</u>において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が実施した政策と人々の生活への影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動 |
| 排列・分量等 | 内容の構成 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>歴史と出会う</u>」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野 総ページ数 299 ページ、前回より約 3%増 |
| 使用上の配慮等 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 領土の確定に関する学習において、開拓使の設置や北海道への移住奨励に関する資料を掲載して、<u>明治時代の北海道の開拓の進展について説明したり、江戸時代にアイヌの人々が採集した昆布の行方を課題として提示し、近隣諸国との交易について紹介したりする</u>など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「フォーカス」で、<u>歴史の舞台に焦点を当てて知識を深める活動や、「歴史を体験する」で、学習内容に関わる体験活動を掲載する</u>など、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>ICTを活用した資料の検索方法を掲載したり</u>など、使用上の便宜が図られている。 |
| その他 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかかわりのある内容について <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史・文化等 17 ページ、北方領土 6 ページ ○ 自然災害及び防災に関する内容について 11 ページ ○ <u>学習者用デジタル教科書の発行は予定されていない。</u> |